

ご当地グルメで復興へ

気仙沼

南町 紫市場 食欲そそったF-1大会

宮城、岩手両県沿岸の仮設商店街による食の交流イベント「復興グルメF-1大会」が20日、気仙沼市南町の「南町紫市場」で開かれた。市内外から約1500人が来場（主催者発表）。震災から立ち上がった各仮設商店街を応援しようと、自慢のご当地グルメを食べ比べ、舌鼓を打った。

地元・サンマティーヤが優勝

初開催の大会には、三陸さんさん商店街（理）がエントリーした。

「めかぶシフォンケーキ」（大槌）や「雄勝丼（ホタテワカメご飯）」（石巻）など、各商店街の創作料理（一品）を各300円で販売。来場者が割り箸で投票し、人気ナンバーワンを決めた。

「紫市場」は、サンマの甘露煮を野菜と一緒にピザ生地にはさんだ「気仙沼サンマティーヤ」、「南三陸さんさん商店街」は名産のタコを油で揚げ、カ

レーに乗せた「南三陸さんさんタコカレー」を販売。話題性もあり、開始早々から買い求める人の姿が続いた。投票の結果、「気仙沼サンマティーヤ」が245票を獲得して優勝。「南三陸さんさんタコカレー」（155票）が2位に入り、賞品として米などが贈られた。紫市場の村上力男理事長は「各商店街が力を結集し、新商品の開発などをきっかけに三陸沿岸の食を全国に発信し、活性化を図りたい」と話した。今後とも継続開催するという。



各地のご当地グルメが並んだイベント

からは、「南町紫市場」と南三陸町の「南町紫市場」がエントリーした。